



農業体験農園開設の手引書を作成

—新しい農業経営にチャレンジ—

開発の背景・ニーズ

愛知県農業の特徴である都市近郊農業は、高齢化、担い手不足、農地の減少、耕作放棄地の増加など様々な問題を抱えています。これらを解決する新たな振興方策として「農業体験農園」を推進するため、先進地調査、経営モデル試算等を行いました。

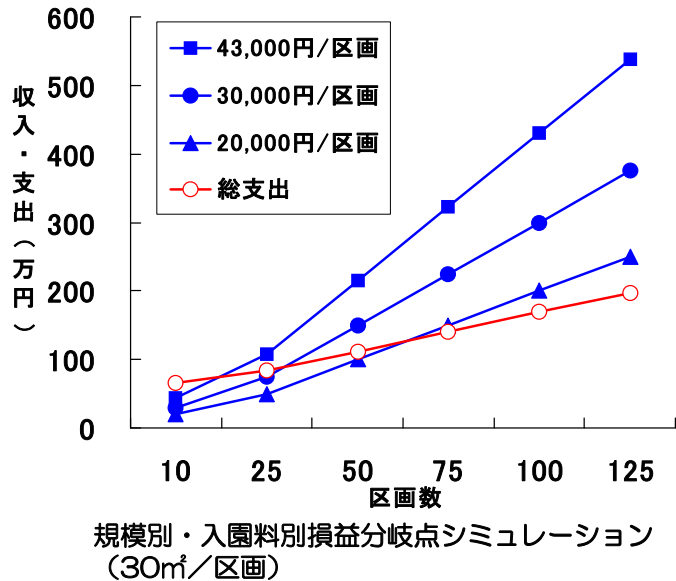
成果の内容

「農業体験農園」の仕組み、メリット、収支、1年の流れなどについて、わかりやすく解説した農業者向け啓発リーフレットを作成しました。

入園料を3段階に設定し、区画数当たりの収支を試算した結果、最低限3万円程度の入園料がないと所得が得られないことが分かりました。先進事例に即した4万3千円の入園料では、125区画で約340万円の所得が得られます。このような経営モデルや先進事例紹介などを加え、指導者向け冊子も作成しました。



農業者向け啓発リーフレット



農園主は安定した収益を得られるとともに、相続税の納税猶予が受けられるといった利点があります。入園者は農園主による準備と指導で楽しみながら農業体験し、割安に農産物が入手できます。「農業体験農園」は双方にメリットがある農業ビジネスモデルとして期待されています。

愛知県農業への貢献

新しいニーズに応える付加価値の高い農業ビジネスである農業体験農園の開設が進み、農業者の所得の向上の一助となるとともに、都市住民との交流が促進され、様々な農業支援の活動や新規就農の増加へと発展することが期待されます。

この研究成果を活用して、平成24年度は県内3つのモデル農園の開設・運営支援が行われています。